

少年の主張

逢瀬町の「少年の主張作文コンクール」に河内小代表として出品する作品を紹介いたします。

福島県のごみを減らすために

6年 染谷 真梧

ぼくは、福島県のごみを減らせる方法はないかと考えました。その理由は全国よりも福島県のごみを出す量が多いからです。全国は一日一人あたり平均918gです。この量に対し福島県は一日一人あたり平均1029gと全国の平均を大きく上回っていることが分かります。それに福島県はゴミの排出量全国ワースト3位に3年連続で入っていました。このようなことがあると、ごみを燃やす量も増え、二酸化炭素の量も増えます。そして、地球温暖化が早まるということも考えられます。そこでぼくが考えたのは、家族や近所の人、知り合いの人に呼びかけるということです。ぼくはまだ子どもなので、大きなことなどはできませんが、このような小さなことを一人ひとりがやっていくことで、知り合いから知り合いという感じで大きなことにつながっていくと思います。それと、買い物の時などはエコバッグを持ち歩くということも大切だと思います。今はレジ袋が有料化になりました。こういうことがあるとエコの意識が高まり、レジ袋の使用が減っていき、ごみを出す量も減っていくと思います。次にごみの処理の大変さです。ごみの処理には多くの行程があり、とても大変です。まず、ごみ捨て場のごみは清掃車で清掃工場に運ばれます。運ばれたごみは、プラットホームのバンカという場所におろされます。写真を見ましたが、その量はとても多かったです。次に運ばれた燃やすごみは、一時的にごみバンカにためられます。このごみバンカで燃やすごみは、クレーンによってかき混ぜられます。こうすることで均一化され、その後焼却炉の中に投入されます。最後に焼却炉で800度以上の高温で、24時間体制で燃やされます。ここで燃やされたごみは、燃やし続けることで灰になります。さらに、灰を溶かす施設で高温で溶かし急速に冷やします。そうすることで元々の大きさの40分の1の大きさまで圧縮されます。このように、ごみ処理には多くの行程があり、多くの時間と手間とお金がかかります。「ごみ処理は大変なんだ。」ということを知っておくとエコやリサイクルの意識も高まりごみが減っていくと思います。逢瀬町にもごみ処理場が学校の近くににあります。今回ごみ処理の行程を調べたことで、学校からみえるごみ処理場でも同じ作業が行われていて大変だなと思いました。逢瀬町では、燃えるごみが火曜日と金曜日、燃えないごみが第2土曜日、ペットボトル・プラスチックが水曜日、ビン、カン、古紙が第2・第4月曜日です。ごみの分別だけでもこれだけ分かれています。お母さんがごみを集めたり、ビン、カン、ペットボトル、牛乳パックを洗ってから分別したりしています。また、本や新聞をまとめています。ぼくも最近は、飲み終わった牛乳パックやペットボトルは洗うようにしています。でも、これからはごみを分別していきたいと思います。そしてリサイクルできる物はリサイクルしていこうと思います。初めにも言ったように、家族から近所の人、知り合いの人に呼びかけることで、ごみを減らしたり、ごみの分別をしっかりしたりすることができると思います。こうすることで、逢瀬町がきれいになっていくといいなと思います。

【裏面へ】

地球環境を守ろう

5年 吉田 陽仁

「バッグはありますか。」「はい、あります。」と、お母さんは言った。今年の7月1日からレジぶくろが有料化になった。今までは買い物をするとき当たり前のようにぶくろがもらえたけれど、もらえなくなってしまった。ぼくは、みんなもバッグを持ってきたのだからかと思ってまわりを見ると、沢山の人がエコバッグを持っていた。しかし中には、ぶくろをもらっている人もいた。ぼくは、どうしてぶくろがもらえなくなったのか、お母さんに聞いてみた。すると、ゴミを減らして地球環境を守るためだと教えてくれた。プラスチックのレジぶくろは、分解されずにずっと地球上に残ってしまうそうだ。それからプラスチックを作るのには石油が必要で、これまでのようにレジぶくろを使い捨てのようになっていると、地球上の石油もはやくなくなってしまうということも教えてくれた。ぼくは、動物が好きで、よく動物に関するテレビや図鑑などを見ている。ぼくは、テレビで、人間が捨てたプラスチックのゴミが、生き物の身体にからまってとれなくなる様子や、ウミガメが、プラスチックのレジぶくろをえさのクラゲとまちがえて飲みこんでしまったという事故をニュースで見たことがある。それによって死んでしまったウミガメもいるということだった。人間が作りだしたプラスチックのゴミが海のかん境を汚したり、生き物のいのちをうばったりしている。この夏、ぼくは、貝がらを拾いに海へ行った。砂浜には、火を燃やしたあとがたくさんあって、木の燃えかすなどがそのままになっていておどろいた。かん板には、花火やバーベキューが禁止と書かれていたけれど、何れ所も木を燃やした後があって、後かたづけはされていなかった。ぼくは、砂浜を歩いているときに、燃えかすの木がちらばっていて歩きにくいと思った。サンダルをはいているのに、木かすがゴロゴロして足がいたかった。その時、テレビで人間の捨てたゴミのせいでウミガメが歩くのが大変だと言っていたことを思い出した。人間のぼくでさえ歩くのが大変なのだから、カニやカメなどの海の生き物はもっと大変にちがいない。かわいそうだと思った。人間がきまりを守らないで砂浜で火を燃やしたり、ゴミをそのまま持ち帰らないで置きざりにしたり、かん境を汚したりすることで生き物が困っている。最近読んだ「海じゅう図かん」にも、地球温暖化の問題がのっていた。人間が生活でだす二酸化炭素が地球の気温を上げ、氷が解け、プランクトンの発生にえいきょうをあたえ、結果として生態系がくずれてアザラシやトドがき機にあると書かれていた。ぼくたちのくらしは今、とても便利だ。しかし、人間が生みだしたプラスチックや二酸化炭素が地球のかん境をこわしている。また、身近な所でも、ゴミを持ち帰らないなどの人間のマナーがかん境を壊してしまっている。ぼくは、人間も動物も地球上の生き物が安心してくらするように、かん境を守っていかねばならないと思う。そのためにぼくにできることは、エコバッグを持って行くことやゴミの持ち帰りをすることなど、ルールとなっていることを守ることだと思う。小さなことでも、一人一人が実行することで、かん境を守ることにつながっていくはずだ。だから、ぼくも、ぼくにできることをして、生き物とかん境を守っていききたい。

10月の行事予定

2日(金)遠足(全学年:郡山自然の家)

2日(金)●弁当持参

6日(火)郷土を学ぶ体験学習(4年)

6日(火)●弁当持参

8日(木)市陸上競技交歓会(6年)

15日(木)就学時健康診断(多田野小会場)

22日(木)薬物乱用防止教室(5・6年)

24日(土)運動会

※荒天時は25日(日)に延期

※25日(日)も荒天の場合は中止

8 日（木）●弁当持参

9 日（金）●弁当持参

1 4 日（水）クラブ活動

1 5 日（木）4 校時限（給食・弁当なし）

2 6 日（月）繰替休業日（運動会実施の場合）

2 8 日（水）短縮時程

2 8 日（水）河内地区秋祭り

3 0 日（金）持久走記録会・学校開放



